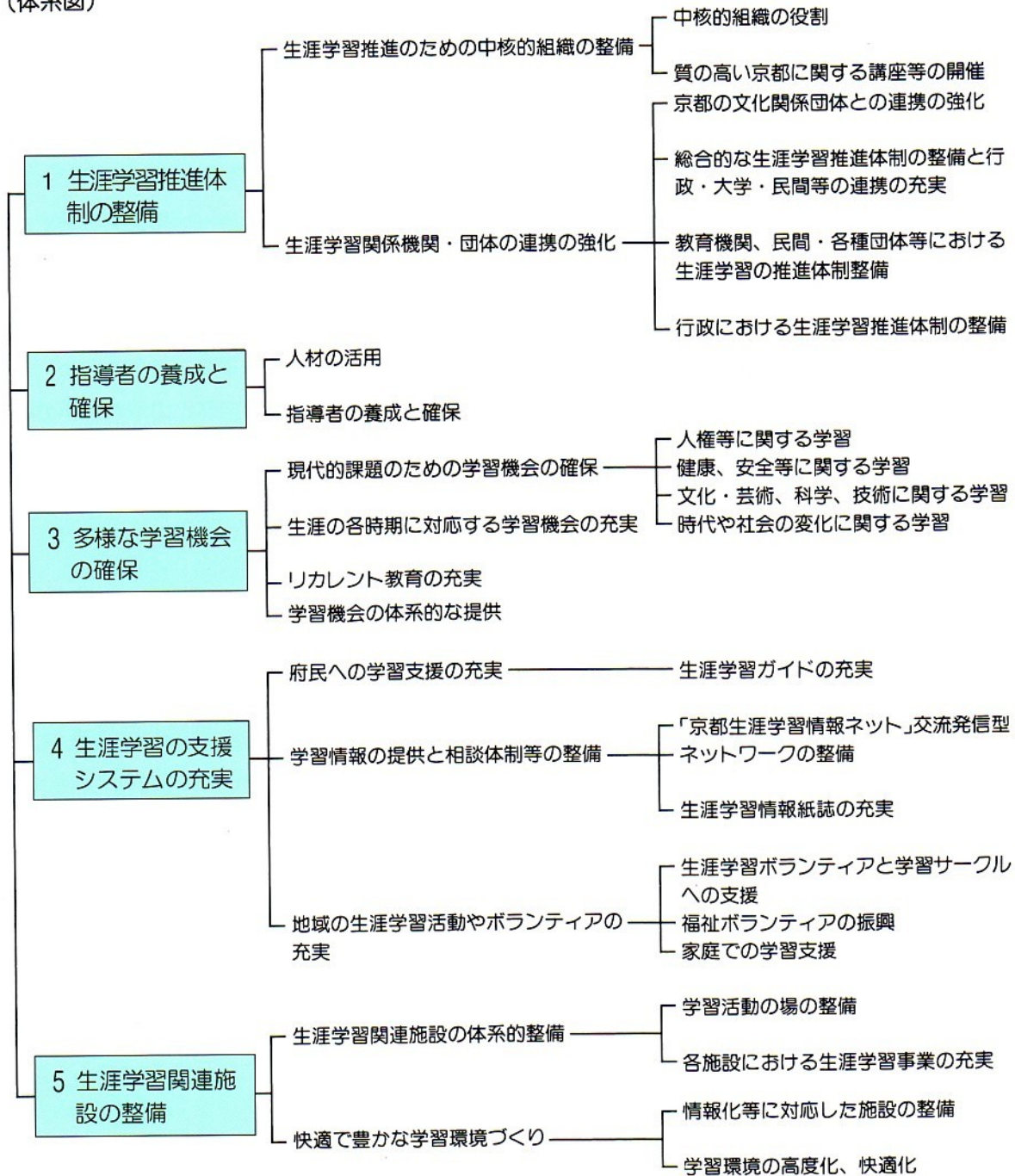


第5

生涯学習施策の総合的な推進 —行政等関係機関の役割—

(体系図)



1 生涯学習推進体制の整備

生涯学習は、既に生涯学習関係機関・施設において様々な形で取り組まれています。今後、一層、府民の生涯学習が活発に展開されるようにしていくためには、京都府においては知事部局と教育委員会が密接な連携・協力を行うとともに、京都市をはじめとする市町村、各種民間団体等の関係機関が、それぞれ適切な役割を担い、相互に情報交換や事業実施の連携協力などを行い、生涯学習の推進体制や生涯学習環境を充実・整備し、総合的に生涯学習を推進するとともに、その中心となる中核的組織を整えていく必要があります。

(1) 生涯学習推進のための中核的組織の整備

(中核的組織の役割)

多様化、高度化する府民の生涯学習に対応して、京都府における生涯学習を総合的に推進する中核的な組織の整備を図ります。

この組織は、①社会の変化等に対応した、生涯学習振興のための調査研究事業、②京都府、市町村をはじめ大学や民間等の生涯学習関係機関の情報交換、各種事業の企画や連携の調整、③学習相談、総合的な学習情報の提供、④生涯学習の指導者の確保と養成、講師等人材バンクの構築、⑤生涯学習関係施設や生涯学習に取り組む各種団体やボランティア活動等の支援、⑥生涯学習の成果に対する評価や顕彰制度についての検討、資格制度の調査研究などを促進し、京都府の中心的役割を果たします。

(質の高い京都に関する講座等の開催)

生涯学習の尽きない素材である京都の歴史・文化・芸術について学者、芸術家、工芸家から一般府民に至る幅広い交流や調査・研究を行う場や組織づくりを促進するとともに、京都に関する歴史、文化、芸術等の学術研究組織から趣味の団体までをつなぎ、京都ならではのユニークな事業を行い、「京都文化」の発展に寄与します。

また、この研究成果の活用や研究者・専門家の協力を得て、水準の高い講座の定期的開催やその記録の発行等を行い、府民に質の高い学習機会を提供するとともに、「京都文化」を全国に向けて発信していきます。

更に、生活に根ざした文化や生涯学習事業の振興を図るとともに、京都における生涯学習の情報や機会を全国に提供します。

(2) 生涯学習関係機関・団体の連携の強化

(京都の文化関係団体との連携の強化)

京都では、伝統的な茶道、華道をはじめ、園芸、写真、絵画などの芸術家、専門家から趣味として取り組む一般府民に至る、生活の中に息づく文化が盛んです。これらのいわゆる生活文化は、生涯学習の観点から重要であり、関係する団体との情報交換などの連携を深め、その一層の振興を促進します。また、これらを京都の学習情報として全国への発信機能の充実を図ります。